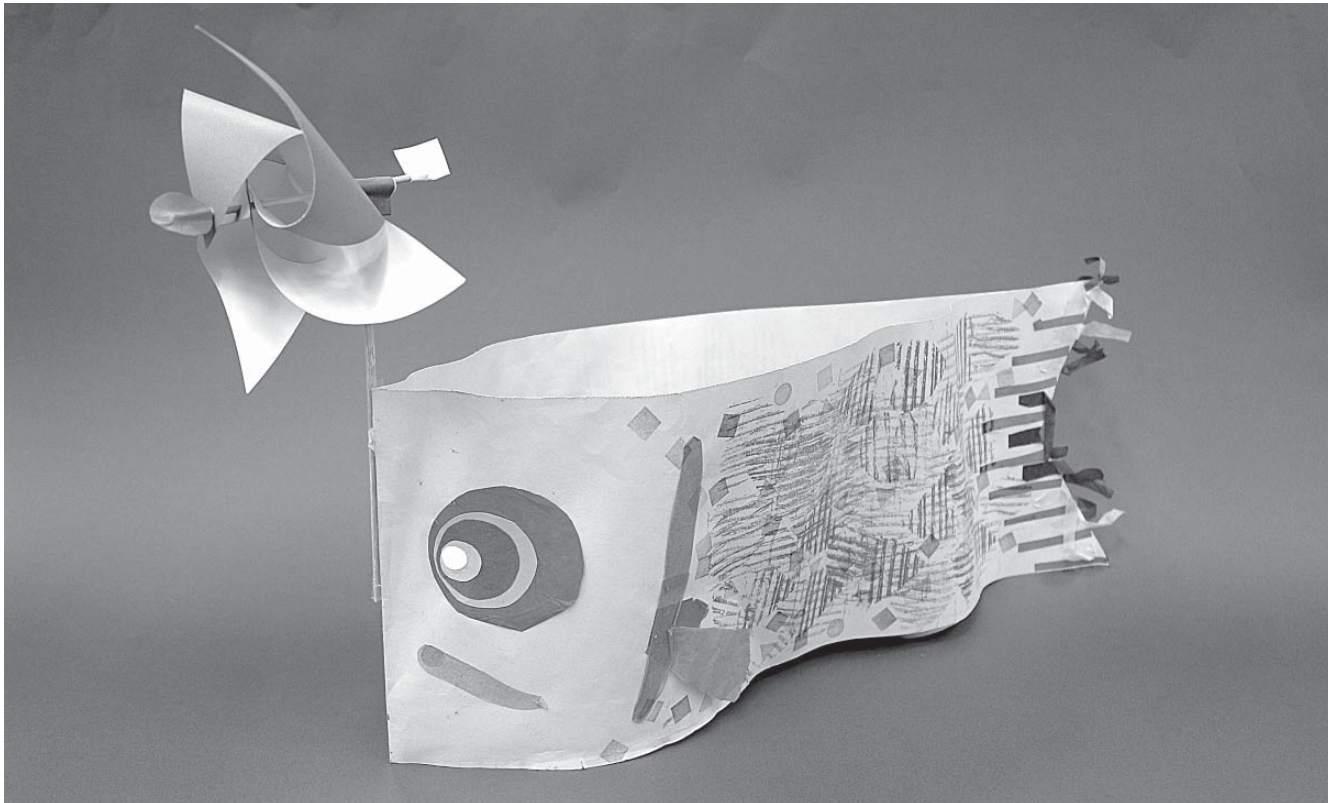


作って遊ぶ “変身”の造形

造形活動は作ることで終わりではありません。作ったものを身につけたり、まったりして、何かになりきって遊ぶ“変身”のアイテムを考え、作ることも造形活動のひとつです。他の人とは違うデザインにしてみよう、大きくしてみよう——想像しながら創造的な活動へとつなげます。一人ひとりが作ったものでも、たくさん子どもたちが作った「コイかぶり」が集まると、こいの大群になります。



「コイかぶり」(端午の節句)

5月は、新緑がみずみずしく目に映り、1年のなかでも特別にさわやかな季節です。

少し前までは、庭先に竹ざおなどを立て、大きなこいのぼりを高く掲げて「端午の節句」を祝う家がたくさんありました。郊外に行くと、電車の窓からたくさんのこいのぼりを見ることができました。最近では、マンションのベランダで空を泳ぐ、小さなこいのぼりに変わってきました。

こいのぼりを揚げ、武者人形などを飾る「端午の節句」の風景は変わっても、子どもの成長と健康を願う気持ちは、

昔から変わりません。日本の伝統的な季節行事として、私たちの生活のなかで生きています。

こいのぼりは、江戸時代の武家に男子が生まれたら幟(はた)を立てて祝うという風習と、「鯉が龍門を登ると竜となって天をかける」という中国の故事が合わさって、日本独特の文化として生まれました。こいのぼりの素材も、戦前までは和紙に手描きであったものが、木綿や合成繊維に変わってきました。

「端午の節句」で、まず頭に浮かぶのはこいのぼりです。造形遊びでも、こいのぼりを題材にしました。「コイかぶり」は、飾るものというより、帽子のように頭にかぶって、子どもたちがこいに変身して遊ぶものです。

遊びの“道具”を作る造形遊びです。

子どもたちは自分を何かに見立てて、“変身”する遊びが大好きです。造形スタジオで作った「コイかぶり」を身につけるとすぐに、5月の空を元気に泳ぐ“こいのぼり”に変身できるのです。

さらに、ひと工夫。「コイかぶり」に風車を着けてみます。風に向かって立つか、自分が走り出すかすれば、風車はくるくる回りはじめます。風車が回ることで風を感じ、あたかも自分が青空を泳いでいる気分になります。

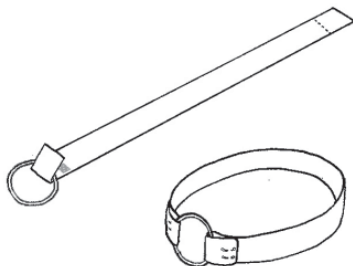
みんなと一緒に走り出せば、もっとたくさんの風を感じ

ることができます。風を受けて回る風車を「コイかぶり」につけることでイメージが広がり、子どもたちは空高く飛んでいきます。

「コイかぶり」には、スタンプを作って模様をつけます。スタンプインクを蛍光インクにしたり、はり付ける紙や描画材を蛍光タイプにすると、ブラックライトをあけると「光るこいのぼり」に変身することもできます。造形遊びの基本は同じでも、造形素材や画材、技法で造形表現や造形遊びの幅を広げることができます。

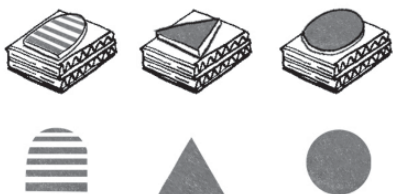
□「コイかぶり」の作り方□

- ①「コイかぶり」の土台になる、頭にかぶる輪を作ります。
 ケント紙の帯の端を折り、輪ゴムをはさみホチキスでとめます。
 頭に巻いてサイズを計って、反対の端も同じようにとめます。
 ※髪の毛などが引っかからないように、
 ホチキスの歯が外側に向くようにとめます。

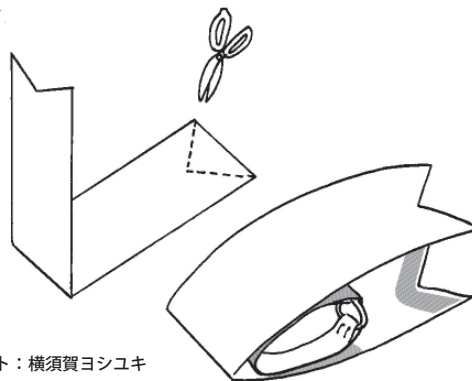


- ②半分に折ったラシャ紙の端を
 こいの尻尾の形に切ります。
 ③ラシャ紙のこいのなかに、ケ
 ント紙の輪を入れて、のり付
 けします。
 ※ラシャ紙の折り線とケント紙の折り線（それぞれの紙の中央）を合わせて、
 それぞれの紙の下端をそろえて、のり付けします。
 尻尾の内側も、開かないようにのりでとめます。

- ④飾り付け用のスタンプを作ります。
 波段ボールを好きな形に切り、3層波段ボールにのりで
 はりつけます。凹凸のある素材も利用します。



- ④スタンプを押して、こい
 のウロコにします。
 目やひげは、色紙で作
 ります。



イラスト：横須賀ヨシユキ

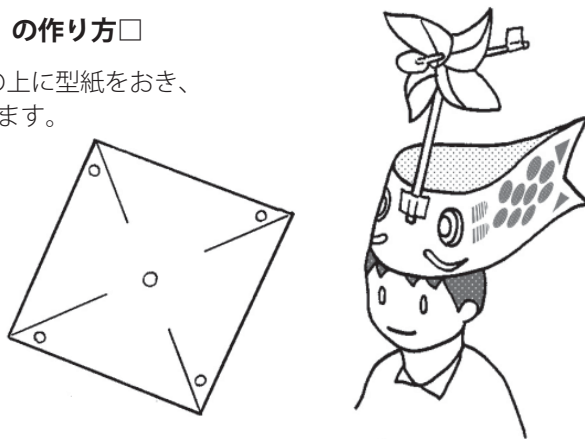
□「かざぐるま」作りで使う道具□
 はさみ／鉛筆／のり／はさみ／ポンチ（4mm 径）
 ／ポンチ台／木づち／砂袋／セロハンテープ

□「かざぐるま」の材料□

- ① W クラフト紙（15 × 15cm）1 枚
 ② 色ラシャ紙（3 × 6cm）3 枚
 ③ 平竹ひご（長 20cm）1 本
 ④ 竹ひご（太さ 3mm × 15cm）1 本
 ⑤ 太いストロー（長 3cm）1 本
 ⑥ 飾り用色紙

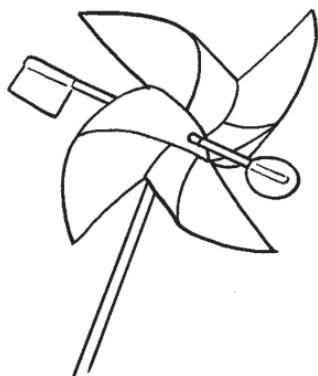
□「かざぐるま」の作り方□

- ① W クラフト紙の上に型紙をおき、
 鉛筆で印をつけます。

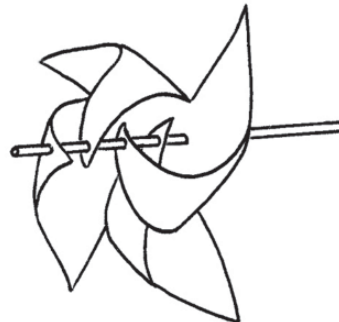


- ② 4本の線にあわせて、ハサミで切り込みを入れます。
 丸い印のところは、ポンチで穴を開けます。

- ③ 紙の中心の穴に竹ひごをとおし、四隅の穴を順番に竹ひごにとおします。
 最後に、色ラシャ紙を半分に折って、竹ひごの前の端にのりづけ。
 W クラフト紙が抜けないようにします。



- ④ 平竹ひごの端にストローをはり
 ます。平竹ひごとストローが直
 角にまじわるように、ストロー
 の開口部をふさがないようにセ
 ロハンテープでとめます。



その上に、色ラシャ紙をのり付けし、補強。紙の端は、ストローからはみだ
 さないように折り込みます。
 平竹ひごの反対側は、色紙をはって飾ります。

- ⑤ ストローに、風車本体の竹ひごをさしこみます。竹ひごの後ろ端は、抜け落
 ちないように、色ラシャ紙を半分に折ってのり付けします。色紙などで飾り
 付けをして完成です。